

平成26年度 第6回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成27年1月24日（土）10:00～10:45

場所：市役所 第1委員会室

出席者：佐々木(重)会長、山崎委員、永田委員、佐々木(祥)委員、森下委員、矢島委員
佐藤行財政改革推進本部本部長、小池総務部長、今村財政課長、事務局
欠席者：吉川副会長、木下委員、熊谷委員、須山委員、小島委員、西塚委員、中島委員

1 開会（小池総務部長）

2 あいさつ

（佐藤本部長）

- ・本日は飯田市公共施設マネジメント基本方針の答申をいただく。これに基づき最終的に基本方針を策定し次年度以降は分野ごとの議論に入りたい。

（佐々木会長）

- ・策定についての諮問を受け、本日までにしっかりとした取組みや議論ができた。委員の皆さんに感謝したい。

3 協議事項

（1）飯田市公共施設マネジメント基本方針への答申について（説明：財政課長）

①答申書（案）の説明

総論、基本方針・推進方策、個別施設の検討について説明。重要な部分についてはゴシック体とアンダーラインで示した。

→ 意見等なし。了承。

②パブリックコメントに対する意見

1ヶ月間パブリックコメントを実施。1件の意見あり。この意見に対する市の考え方について資料（P2）により説明。

→ 質疑等なし。了承。

・佐々木会長

答申書は委員の意見が全て網羅されているわけではないが、未記載部分については事務局から担当部課へ伝わっており反映されているものと考えているので承知願いたい。

→委員了承。

③意見交換（各委員からこれまでの感想や委員会の進め方など一言）

・山崎委員

遠山郷に係る指定管理者（振興公社、青崩会など）と意見交換した。今後の施設管理運営等について、指定管理者としてどのように取組むか検討しているところである。統廃合について市と協議しながら整理したいとの前向きな意見であった。

・永田委員

遠山郷については設備のほか道路関係も含めて勉強していきたい。

・佐々木委員

行財政改革は行革推進委員会の中で検討しているが、他の委員会とのつながりを持ち議論することも必要と感じた。税金を無駄遣いしないことは市民に理解してもらえるが、今後リニアを迎えるなかで、地域として発展するために必要なお金は使っていくことも大事なこと。様々な事業について市民に関心を持ってもらうようにまちづくり委員会等でもアピールする必要があると感じる。

・森下委員

先日、小中学校、PTAの参加により地域づくりフォーラムを実施した。特に中学生は地域についてのしっかりとした考えを持っている。地域は大人だけの活動でなく、小中学生、高校生と連携することがとても大切であると感じた。また、あいさつ運動により大人から子どもへ声かけをすることにより絆を深めていくことも必要と感じた。そうすることで街も良くなっていくとの意見が出た。

・矢島委員

先日体育館を利用したが、管理人の対応に憤慨したことがあったので市民に接する対応を徹底していただきたい。りんご庁舎フリースペースは高校生がいるためとても狭く打合せできないことが多々ある。新庁舎は会議室にゆとりがあると思うのでぜひ使用したい。

・佐藤本部長（各委員からの意見を踏まえ）

遠山郷はとても魅力的な場所でありこれから施設のあり方等についても議論をしていく。道路整備を進める一方で今の雰囲気はどう残していくかが飯田市にとって課題である。

リニア関連や他の施設に関する議論は行革推進委員会だけではなく、広い視野で考え市民の皆さんと議論していく必要がある。

挨拶は大切。先日も、新庁舎の1階は良いが2階より上の職員は挨拶しないというご指摘をいただいた。市民みんなが気持ちよく挨拶を交わせるようなまちづくりが大事であると感じる。

体育館の管理人の対応については確認する。市民の皆さんに使っていただけるフリースペースとしては、旧庁舎の耐震工事が終わると1階に「市民サロン」ができるのでご活用いただきたい。

④答申

飯田市行財政改革推進委員会から飯田市行財政改革本部佐藤本部長へ答申書を渡す。

(2) 平成27年度の取組み内容について（説明：財政課長）

①飯田市行財政改革大綱における改革プランについて

→H26総括、H27年度計画や取組みについて協議したい。

②飯田市公共施設マネジメントの取組み状況について

→H27年度の取組み状況についての説明や意見交換

③指定管理者制度期間終了施設の実績評価

→H27年度に終了施設するについて評価と方針について協議いただく。

4 その他

・第5回推進委員会議事録について

→ 意見なし。ホームページで公表する。了承。

5 閉会

・閉会後庁舎見学